

Step1 (2014年度) : 後工程クリーンルーム(C棟)

クリーンルーム用空調熱源設備を更新
 水冷チラー+温水ボイラー → 高効率空冷HPチラー

省エネ効果
7% 削減

Step2 (2016年度) : 後工程(D棟)


Step1の検証結果、D棟へ水平展開
 水冷チラー+温水ボイラー → 高効率空冷HPチラー

省エネ効果
 累計 **11% 削減**


Step3 (2017年度~) : 前工程 恒温恒湿クリーンルーム(B棟)

一番多くエネルギーを使用している棟

- 水冷チラー+蒸気ボイラー → 高効率空冷HPチラー
- 蒸気スプレー加湿 → ドライフォグ加湿



高効率空冷HPチラー



加湿用ドライフォグ

上記対策に加え、廃熱回収利用、全館LED化、EMSの導入を併せ、
 2017年度ASSET事業(環境省補助金)を獲得し大規模改修

省エネ効果
 累計 **19% 削減**



Step4 (2022年度) : 前工程(A棟)

Step3で実現した廃熱回収利用を段階的に水平展開

工場の
脱化石燃料達成!



生産設備からの排熱を
 再加熱、暖房利用

Step3で実現した廃熱回収
 利用を段階的に水平展開

工場全体 (2013年度比)	エネルギー使用量	19%削減
	エネルギー消費原単位	26%削減
	CO ₂ 排出量	34%削減